

<テーマ>

臨床検査技師はコミュニケーションが苦手？

医療従事者として多職種連携に必要なコミュニケーションスキルとは！

<ねらい>

本企画は、コミュニケーション（ノンテクニカルスキル）の重要性を学ぶことを目的としています。「コミュニケーション力が高い」と聞くと、ただ陽気で社交的といった印象を受けるかもしれませんが、医療現場ではそうではありません。「しっかり相手に情報を伝える」「相手の情報をしっかり受け取る（理解する）」ことがコミュニケーションの基本です。

これは、医療従事者として働く上で必要な「多職種連携」や「医療安全対策」といった視点でも非常に重要なことと考えられています。医療の専門職（臨床検査技師）としてのスキルとは別のスキル（ノンテクニカルスキル）ですが、コミュニケーション力を身に着けることで、仕事がやりやすくなったり、仕事に対するモチベーションが上がったり、大きな医療事故を防ぐことができたりといった効果があります。

今回は、医療従事者の教育に携わってきたスペシャルな講師陣と司会陣にご依頼をしました。「コミュニケーションスキルの重要性」を今後の医療を背負う若い世代へ知ってもらいたい。学生や教員、臨地実習先の指導者となる多くの方々に聞いてほしい。そんな思いで企画しましたので、是非ともご参加ください。

司会 安井 浩樹（田中医院 副院長）

刑部 恵介（藤田医科大学 保健学研究科准教授）

<講演内容>

1. 臨床検査技師に求められる対患者・対多職種コミュニケーション

演者：藤崎 和彦（岐阜大学 医学部名誉教授）

2. 看護教育の最前線から学ぶ！現場へ反映できるコミュニケーション教育

演者：阿部 恵子（金城学院大学 看護学部看護学科教授）

3. 苦手!?とは言わせないぜ！コミュニケーションスキルでダンジョン攻略！

演者：植松 明和（大東文化大学 スポーツ・健康科学部 健康科学科准教授）

4. 海の向こうへ Let' s Go ！医療人としての大冒険！

演者：浦 みどり（神戸常磐大学 保健科学部医療検査学科准教授）